

# 女性相談プラットフォーム運営事業【静岡市】

総事業費	2,986千円
交付金額	2,239千円

## 地域の実情と課題

- ・コロナの影響で静岡市女性会館に寄せられる相談件数がR2年度以降急増している。
- ・DVなど深刻な問題を抱える女性の相談が増加しており、支援機関との連携が課題である。
- ・市民意識調査(R3)より、DV経験者の42.9%が「誰にも相談しなかった」と回答しており、相談しやすい環境、身近な支援者の養成が課題である。

## 目的・目標

- 様々な課題・困難・不安を抱える女性への支援体制を充実させ、「誰一人取り残さない」社会づくりに取り組む。
- ・プログラム開催回数15回(達成)
  - ・養成プログラム受講後に支援者となる人の割合 20%(集計中)

## 事業の特徴

- 1 支援者養成プログラム  
受講生のレベルにあわせて、基礎課程と専門課程を行う。  
(基礎課程)  
(専門課程)
- 2 女性支援・相談マニュアルの作成  
女性相談に役立てるため、マニュアルを作成し、関係機関と共有する。  
またマニュアル別冊として女性支援に関わる人の指針となるようなガイドブックを作成、関係機関に配布する。

## 連携団体

静岡市女性会館、社会福祉協議会等

## 事業の効果

- ・1 支援者養成プログラム  
受講者：基礎課程36名、専門課程48名
- 2 女性支援・相談マニュアルの作成  
新規で採用された女性会館相談員にマニュアルを用いて研修を行った。  
関係機関にマニュアルを共有した。また、マニュアル別冊としてガイドブックを5,000部作成し、関係機関に配布した。
- ・開催回数15回
- ・地域活動・ボランティア活動で活かしたい20.7%
- ・いずれ女性を支援する仕事につきたい20.7%

## 今後の課題

- ・令和4年度に作成した支援者ガイドブックが多くの支援者の手に渡って活用されるよう、配布イベント(公開講座)の開催や、ガイドブック活用方法の紹介動画を作成し、ガイドブックの活用促進をはかる。
- ・女性の困難を理解する支援者を地域コミュニティに増やすため、民生委員や、社会福祉協議会などへの出前講座を実施する。

# 事業の概要

## 困難や不安を抱える女性の支援者養成事業

### 1 支援者養成プログラム

受講生のレベルにあわせて、基礎課程と専門課程を行う。

(基礎課程)

20代～60代の女性を対象に、年12回の養成プログラムを行い、支援への関心がある初心者を女性特有の困難の理解者へと育成する。

(専門課程)

女性の支援にあたっている女性を対象に年3回の養成プログラムを行い、ロールプレイなど、より相談の実際に近い内容について研修を行う。

### 2 女性支援・相談マニュアルの作成

女性相談に役立てるため、マニュアルを作成し、関係機関と共有する。またマニュアル別冊として女性支援に関わる人の指針となるようなガイドブックを作成、関係機関に配布する。

